

血液内科 研究業績(2023年)

学会発表

1. 症候性多発性骨髄腫を発症した休職中の患者に対する治療導入時点での社会的側面への支援の効果
吉田こずえ、川崎由香、伊藤伸哉、枚方裕己、今戸健人
第20回日本臨床腫瘍学会学術集会 2023/3/16 マリンメッセ福岡
休職中の骨髄腫患者に社会的支援を行うことで患者の不安を緩和し治療に専念できる思いにつながった症例を報告した。
2. 皮膚生検により診断された血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の1例
江崎綾乃、熊本友子、田中紀光、今戸健人、森亜子、清水義文、山本哲久、松尾祥平
第239回日本内科学会近畿地方会 2023/3/4 大阪国際交流センター
腹部の紅斑部位より皮膚生検を行い、真皮、皮下脂肪組織の細血管内に集簇した CD20 陽性の大型リンパ球様異型細胞を認め、血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断し、治療を行った症例を報告した。
3. びまん性大細胞性 B 細胞性リンパ腫(DLBCL)の化学療法後に急性硬膜下血腫を発症しその後急性骨髄性白血病(AML)と診断された症例
淡田公久、柴田大、大塚正恭、片岡良久、森山康弘、大橋寛嗣、井上真生、今戸健人
第239回日本内科学会近畿地方会 2023/3/4 大阪国際交流センター
縦隔腫瘤と扁桃腫瘤の DLBCL に対して、R-THP-COP 療法後に AML を発症し呼吸不全にて死亡、剖検にて縦隔腫瘤に blast 細胞の浸潤を認め、顆粒球肉腫と考えられた症例を報告した。

4. MALT リンパ腫に Coombs 陰性自己免疫性溶血性貧血を合併した一例

熊本友子、清水義文、森亜子、今戸健人、田中紀光、松尾祥平

第 118 回近畿血液学地方会 2023/5/27 大阪国際交流センター

69 歳女性。胃と肺の MALT リンパ腫に Coombs 陰性自己免疫性溶血性貧血を合併した症例に対し R-CHOP 療法を実施し、リンパ腫と溶血性貧血の双方とも寛解に至った経過を報告した。

5. 膵臓癌治療のためホジキンリンパ腫化学療法が 1 年間遅延した症例

江崎彩乃、熊本友子、田中紀光、今戸健人、森亜子、清水義文、松尾祥平、松田育雄

第 118 回近畿血液学地方会 2023/5/27 大阪国際交流センター

ホジキンリンパ腫と診断した患者に PET-CT を実施したところ膵癌が見つかったため、膵癌治療を優先。膵体尾部手術・化学療法を実施後にリンパ腫化学療法を実施。膵癌とホジキンリンパ腫の双方とも寛解に至った経過を報告した。

6. 濾胞性リンパ腫治療後にバーキットリンパ腫を発症したと考えられた一例

西川大亮、大野美穂、加藤正輝、中筋幸司、森亜子、清水義文、松尾祥平、松田育雄

第 24 回日本検査血液学会学術集会 2023/7/30 ウィンクあいち

濾胞性リンパ腫治療後にバーキットリンパ腫を発症した症例を、細胞形態、表面抗原、免疫形質から考察した。

7. HBs 抗原、HBc 抗体、HBs 抗体は陰性であったにも関わらず HBV 再活性化を来し落命した多発性骨髄腫患者の一例

今戸健人、根上友子、波多野友美、小林由美子、西川大亮、大野美穂、加藤正輝、田中弘教、江崎彩乃、熊本友子、田中紀光、森亜子、清水義文

第 85 回日本血液学会学術集会 2023/10/14 東京国際フォーラム

免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎対策ガイドラインに則り、HBV 未感染パターンと認識した骨髄腫患者であったが、化学療法開始から 4 年 5 ヶ月後に de novo B 型肝炎を発症した経過を報告した。

8. 打撲による筋肉内出血を契機に致命的な経過をたどった先天性アンチトロンビンⅢ欠損症の剖検例
北井菜摘、長澤智、北井洋輝、奈村夕紀子、須藤麻貴子、張木洋寿、松尾祥平、今戸健人、宮島透
第 242 回日本内科学会近畿地方会 2023/12/9 千里ライフサイエンスセンター
先天性アンチトロンビンⅢ欠損症の患者が打撲を契機に凝固系が活性化を来し、非閉塞性腸管虚血を生じ死亡。病理解剖を実施し、
結果を報告した。

研究会、講演会

1. 「B 細胞性腫瘍 最新情報 update、CLL 症例」
清水義文
Hematological Conference in Hanshin 2023/1/26 都ホテル尼崎
閉会の辞として総括を行った。
2. 「血液検査結果から血液の病気を疑うとき」
清水義文
第 21 回宝塚市立病院 Web セミナー 2023/4/20
上記タイトルにて血液内科担当の講演を行った。
3. Discussion 「CAR T 治療を最適化するために」
清水義文
CAR T Conference in Hyogo 2023/6/2 Web Seminar
ブレヤンジ、アベクマについての Discussion part の司会を担当した。

4. 「～難治性多発性骨髄管理の実際～」として

武庫川 DLBCL セミナー 2023/6/26 西宮神社会館

髄外腫瘍によって下垂体機能低下症・尿崩症を来した t(4:14)、gain 1q を伴う難治性多発性骨髄腫の一例を報告した。

初期研修医 松木茉由子が発表、今戸健人が座長を担当した。

5. 特別講演 「造血器腫瘍外来治療の注意点」

今戸健人

第37回宝塚市薬剤師地域連携研究会 ～宝つーかーの会～ 2023/7/8 宝塚市立病院講堂 および Web 配信

悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病の外来治療について講演を行った。